

自分だけの 生ごみ処理器 「キエーロ」を作ってみよう！

たむら市政だより2月号で、多くの市民の皆さんから生ごみ処理器「キエーロ」の作り方について、お問い合わせをいただきました。3月号では、キエーロの作り方を中心に、ご紹介します。

キエーロの作り方ををご紹介します

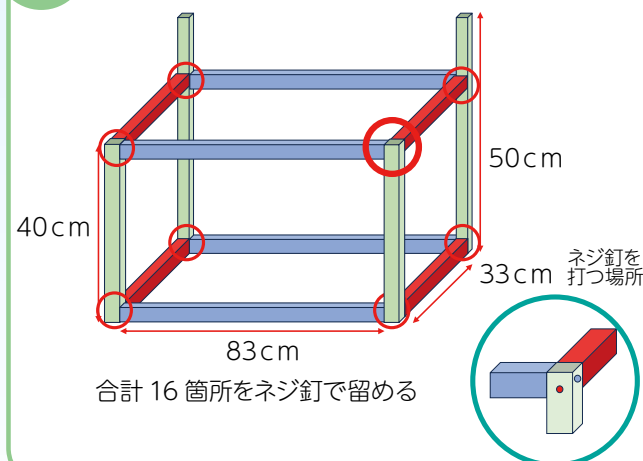
ここでは、ご家族4人世帯を目安にした大きさで、をご紹介します。木材の詳細は、市ホームページをご覧ください。

材料 ・木材 ・ネジ釘 ・金づち
・波板 ・蝶番 6cm×2個 ・インパクトドライバー
・波板用傘釘 ・軍手

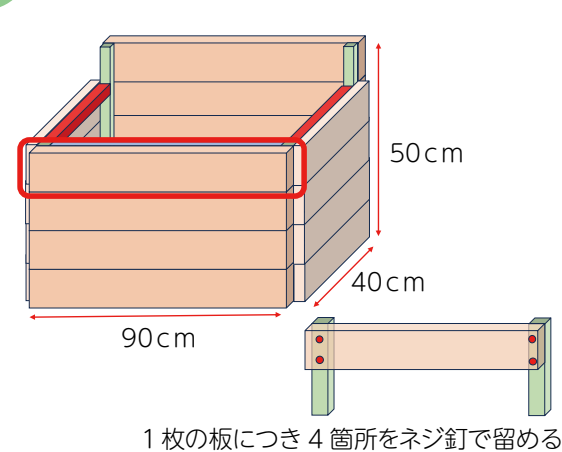
完成写真

縦51cm、横96cm、高さ52cm

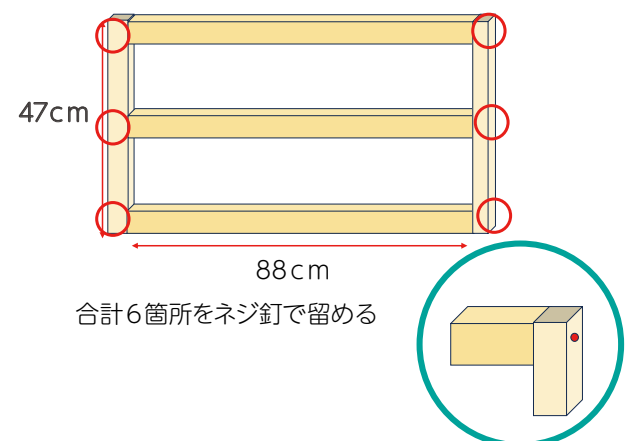
1 箱の枠組みを組み立てる



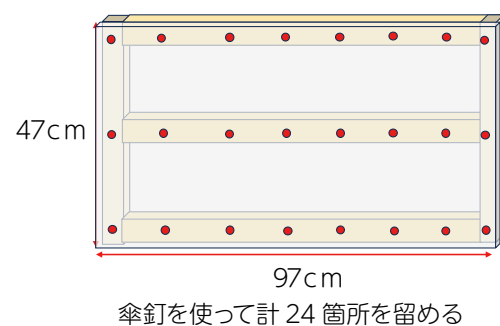
2 枠に板を打ち付ける



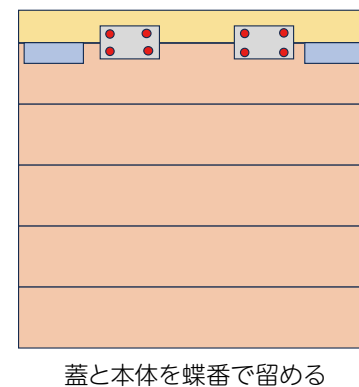
3 蓋の枠組みを作る



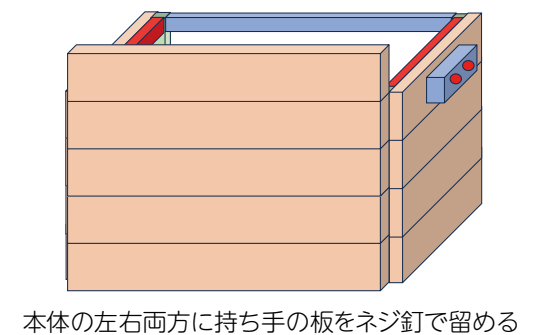
4 蓋の枠に波板を取り付ける



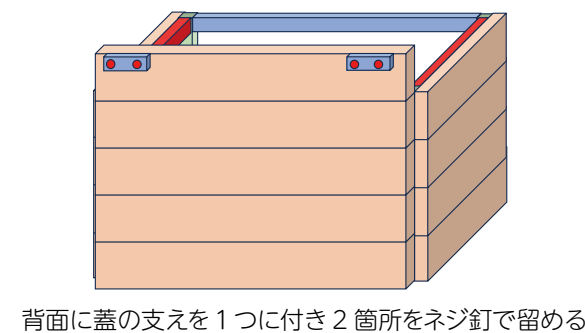
5 蓋と本体を蝶番で留める



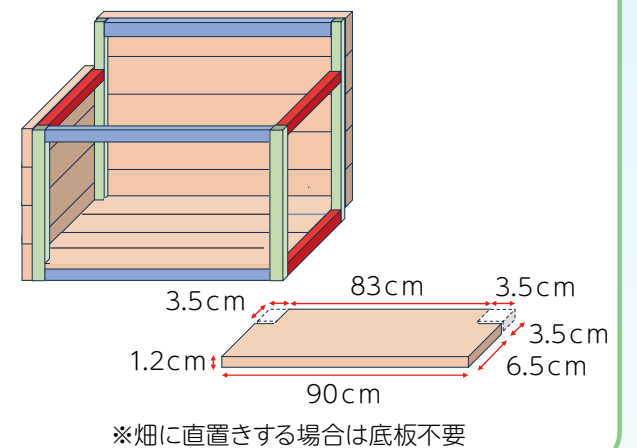
6 持ち手の板を取り付ける



7 箱の背面に蓋の支えを打ち付ける



8 底板を 4 枚はめる



キエーロに関するよくある質問

Q キエーロはどんなところがいいですか？

A 生ごみを投入し続けても、土の量は変わらず「虫や臭いで悩むことがない」のが大きな特長です。微生物の住処の土は、分解が順調であれば、入れ替えの必要はありません。

Q 腐っているもの、カビが生えているものを入れてもいいですか？

A 問題ありません。腐りかけた野菜は早く分解されます。微生物は、油などのカロリーが高く、味がついているものが好きです。一方、動物の骨や貝殻、アボカドや梅干しなどの種、タケノコやトウモロコシの皮などはほとんど分解されません。

Q 使い方の注意点を教えてください。

A 微生物の分解には、適度な水分（※手で土団子が握れるくらい）と酸素が必要です。雨がかららず密閉しないようにフタをかけることがポイントです。また、生ごみはできるだけ細かく刻み、土とよくかき混ぜ、虫や臭い対策のため、乾いた土を厚めにかぶせてください。

キエーロを作りたい方は、下記までお問い合わせください。

田村市市民部 環境課 ☎81-2272

